

鉄道係員に対する暴力行為の主な事例(令和4年度)

月日	12月21日	曜日	水曜日	時間帯	24時
場所	ホーム	加害者の年齢	60代	飲酒の有無	有
<p>旅客が泥酔し車内で眠っていたため、声を掛け起こそうとしたところ暴言を吐かれた。その場から動こうとしないため関係箇所に報告中、旅客が列車から降車した。荷物を忘れていたため、渡そうと近づいたところホームで放尿していたので注意したところ、逆上し暴力行為を受けた。顔を殴られ、首を絞められた。その後、当該旅客は、駅社員に制止され、警察に引き渡された。</p>					

月日	2月6日	曜日	月曜日	時間帯	21時
場所	車内	加害者の年齢	40代	飲酒の有無	有
<p>車内ドアコックが操作され、確認のため駅務係と駅係員が現場に走行した。目撃情報からドアコックを操作したと思われる人物に確認をしたところ、激怒し車内の壁や車両の貫通扉を強打し暴れだし、その後手を振り回しながら車内を徘徊した。他のお客様に危害を及ぼす恐れがあるため、抑止しようとしたところ、左胸を3発強打され左第2肋骨を骨折した(全治2ヶ月)。当該旅客は車外へ逃走した。その後の捜査で当該旅客は逮捕された。</p>					

月日	2月25日	曜日	土曜日	時間帯	18時
場所	改札窓口	加害者の年齢	70代	飲酒の有無	有
<p>女性駅務係員は改札窓口執務中、改札外から来た男性から、道を尋ねられ、ご案内のため扉を開け、外に出て説明した。ご案内後、同男性より両手で両肩を3度叩かれ、右手で左胸を下から上へ触られると共に、左胸をわし掴みにされた。同係員は「触らないで下さい」と声をあげると、同男性は「ごめんね」と言い残り駅を後にした。その後、助役に報告、同助役が付近を捜索するも同男性は立ち去っていた。後刻、同助役が改札窓口執務時に同男性が改札口を通過したのを認め、同一人物であることを確認後、声を掛け、駅長室に案内し、110番通報、被害届を提出した。加害者男性は、迷惑条例防止違反で逮捕された。その後、相手弁護士と話し合いを行い、被害届を取り下げ、示談が成立した。</p>					

月日	11月11日	曜日	金曜日	時間帯	7時
場所	改札	加害者の年齢	50代	飲酒の有無	有
<p>自動改札機に投入した乗車券が出てこないと申告があり、確認すると別収箱に回収されていたため「申し訳ございません」と謝罪、乗車券を返却し、再度自動改札機を通るよう案内した際に腹を拳で突いてきたので「暴力を振るわないでください」と注意すると、急に激昂し左前額部を拳で3回殴られた。(前額部打撲傷, 脳震盪, 全治約2週間)</p>					

月日	5月7日	曜日	土曜日	時間帯	23時
場所	改札	加害者の年齢	50代	飲酒の有無	有
<p>改札付近でお客さまが残高不足のため、通れなくなりお困りの様子だったので、駅係員がお声掛けをして自動精算機をご案内したところ、急に右肩を掴まれ、振り向いた途端に加害者から頬から首筋にかけて殴打され、転倒した。</p>					

月日	6月14日	曜日	火曜日	時間帯	20時
場所	駅務室	加害者の年齢	40代	飲酒の有無	有
<p>係員は、旅客が駅務室の応対窓を激しく叩いたので応対すると突然、駅務室に入室してきて体当たり後、頭突きを2回受け、暴言を浴びせられた。 助役は、異常を感知し警察署へ通報したところ、旅客から「警察呼ぶのか。何で呼ぶんだ。お前はくそだ」と右手に持っていた長傘で左足を叩くとともに唾を吐かれ、唾液が制服上衣に付着した。</p>					

月日	12月27日	曜日	火曜日	時間帯	18時
場所	ホーム	加害者の年齢	40代	飲酒の有無	無
<p>停車中の車内でつり広告剥がして、ホームに出た不審な旅客に運転士とホーム案内をしていた乗務助役がお声掛けを行ったところ、運転士の顔面をいきなり殴りつけたので取り押さえ、ご案内カウンターの裏へ連れて行ったところ、乗務助役の顔面も突然殴った。警察の出動を要請し、被害届を提出している。</p>					

月日	10月25日	曜日	火曜日	時間帯	11時
場所	改札口	加害者の年齢	30代	飲酒の有無	無
<p>ウェブにて列車を予約したと思い込み、実際は予約できておらず、駅係員が乗車できない旨を伝えたところ激昂し、駅改札口の窓ガラスを素手で殴り破損させた。当該者及び係員に怪我等はなかった。</p>					